

時務艦間宮製造一件

0427

起案郵紙

大正丁年七月廿九日起案

起案者 捺印

九月九日發付

發付掛

發付後起 案者捺印

大官房 11.9.6 受

二總艦 11.8.23 受

本艦 11.8.24 受

本艦 11.8.24 受

本艦 11.8.24 受

本艦 11.8.24 受

本艦 11.8.24 受

本艦 11.4.28 受

本艦 11.4.28 受

本艦 11.4.28 受

本艦 11.4.28 受

(提定) 艦政

副官

第四部長

第五部長

局部 受月日 發月日

大臣

次官

參事官

第三部長

第二部長

軍務

總務部長

經理局長

第三課長

軍務局長

第一課長

第一課長

局長

軍金	水路	臨建	教育	造兵	技本	經理	醫務	機關	人事	軍務	官房	局部
八												受月日
廿五												發月日

特務艦同官工事三ノ空概括表ノ件

七月十四日附給程第三脚ノ以テ新出ノ特務艦

官房機務第一二三號上

0428



尚宮之事定概指表、件認修相成候
 右通知
 左記(訂正上)

(左記)

工事予定概指表中訂正(要元)

(五)主砲積込 …… 削除

(六)大砲台地交代 …… 削除

砲類 兵四方面要則日表中訂正(要元)

一、西砲台、八種砲架砲身 …… 削除

一、西砲台七銃口至外架砲 …… 削除

一、八種砲十銃口至外架砲 …… 削除

一、照準儀修繕 (十日修理用) …… 削除

一、西砲台用装填法砲 …… 削除

(3)

(納原載)

海軍

0429

艦政本部



給糧第三號 大正十一年七月十四日

神戸駐在

首尾監督官

海軍大臣 男爵加藤友三郎殿

特務艦間宮工事進捗豫定概括表拜提ノ件

建造方御下命相蒙リ候特務艦間宮工事別紙概括表ノ通施行致度候間
何卒御承認被下度御官給兵器所要期日表相添此段奉願上候也

第四部
第五部
第一部
第二部
第三部

總務部

第二課
第一課

官房機密第一三三號

新庄部員

河合部員

Handwritten signature and initials



神戸市東川崎町貳丁目拾四番地

株式會社川崎造船所

專務取締役 松方幸次郎



株式会社川崎造船所用箋



0430

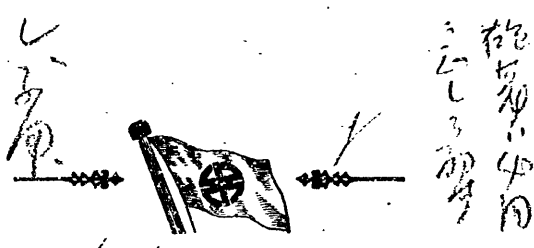


特務艦間宮工事進捗豫定概括表

名 稱	着 手 年 月 日	竣 工 年 月 日
一 記 起 工	大正十二年十月下旬	
二 進 水		大正十二年六月上旬
三 備 積 込	十二年六月上旬	十二年六月中旬
四 主 機 積 込	十二年六月中旬	十二年六月下旬
五 主 砲 積 込	十二年七月上旬	十二年七月上旬
六 豫 行 運 轉	十二年九月上旬	十二年九月中旬
七 公 試 運 轉	十二年九月中旬	十二年九月中旬
八 大 砲 公 試 發 射	十二年九月下旬	十二年九月下旬
九 引 渡		十二年十月三十一日

株式会社 川崎造船所用箋

0431



特務艦間宮砲煩兵器所要期日表

名稱	所要期日
一四纏及八纏砲用礎輪	大正十二年五月上旬
一四纏砲用揚彈藥機	全 〃 〃
八纏高角砲用揚彈藥機 (人力兼電力盛揚式)	全 〃 〃
空氣壓搾唧筒	全 〃 五月中旬
一四纏及八纏砲架砲身	全 〃 六月中旬
一四纏砲小銃口徑外臍砲	全 〃 〃
八纏砲小銃口徑外臍砲	全 〃 〃
照準演習機 (十四纏砲用 八纏砲用) 人力裝置	全 〃 〃 〃
一四纏砲用裝填演習砲	全 〃 〃
二米半及三米高角測距儀	全 〃 〃
一四纏及八纏砲用砲側彈藥筐	全 〃 〃

株式會社 川崎造船所用箋

0432



		特務艦間宮電氣兵器所要期日	
通信用二次電池	無線電信機	探照灯	名稱
全 ” 六月下旬	全 ” 六月下旬	大正十二年六月下旬	所要期日

川崎造船所用箋

0433



		特務艦間宮水路兵器所要期日	
名	稱	所	要
期	日	期	日
其	他	同	七月下旬
コ	ン	大	正
パ	ス	十	二
類		年	七
		月	下
		旬	

株式会社 川崎造船所用箋

0434



軍務局

大正十一年十月廿五日

日 午後十時三十分 局發
日 午後十一時 分 海軍省著

發信者川崎造船所長

受信者艦政本部長

電報譯

特務艦間 午前十時起エレマシタ

海軍



0435

起案郵紙

大正十二年五月十八日起案

起案者 捺印

六月二日

12.5.28 受接

12.5.25 受

12.5.31 受

12.5.2 受

12.5.2 受

12.5.2 受

12.5.2 受

12.5.2 受

12.5.2 受

12.5.2 受

提案 總政本部長

濟

第四部長

第五部長

大臣 次官

岡田

參事官

副官

藤田

坂野

總務部長

河野

高橋

木村

木村

12.5.24 受

庶務局長

第一課 第二課

坂野

第一課長 第二課長

高橋 坂野

經理局長

經理局長

第二課長 第三課長

坂野

高橋

坂野

坂野

大正十二年五月二十日

省副官

川崎造船所長宛

特務艦向官進水延期一件

五月三附給糧第七脚ヲ以テ出願ノ特務艦向

號番

官房機密第七〇八號

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技務	經理	醫務	艦政	人事	軍務	官房	局部
											六月一日	受月日
												發付後
												捺印

0436

艦政本部

給糧第七號 大正十二年五月三日

神戸駐在

首席監督官 久保

海軍大臣男爵 加藤友三郎殿

特務艦間官進水延期ノ件 河原部員



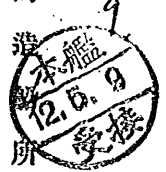
目拾四番地
造船所
方幸次郎



四部 務艦間官進水ハ大正十一年七月十四日附給糧第三號ヲ以テ拜提大
務部 十一年九月第六百零六號官房機密第一二六三號ノ二ヲ以テ御認許相蒙リ
候工事進捗豫定概摺表ノ通り來ル六月上旬舉行ノ豫定ニ有之候處目
下軍艦加賀ニ裝備中ノ本艦用汽罐未タ御下附無之爲メ進水期日決定
致兼候間右何卒御認許被成下度此段奉願上候也
追テ改訂概括表ハ本文汽罐御下附期日確定ノ上作製更メテ拜提可
仕候間左様御承知被下度願上候也

官房機密第七八八號

株表 川崎造船所用箋



0438

紙用箋附

大正
ジャパ歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

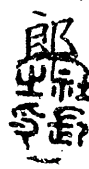
拜提可

日決定

候處目

相蒙リ

拜提大



用箋



0438



紙用箋附

大正12年5月18日

海軍艦政本部第五部

此件有給送引ノ事

送引ノ事ハ送引ノ事ナリトシテ

輸送ノ事ハ送引ノ事ナリトシテ

送引ノ事ハ送引ノ事ナリトシテ

送引ノ事ハ送引ノ事ナリトシテ

送引ノ事ハ送引ノ事ナリトシテ

0439

入名
編綴

普通
密
綴結
續了

發送
番號

艦政本部長



總務部長



第 第 第 第
五 四 三 二
部 部 部 部
長 長 長 長

第 第 第
一 二 三
課 課 課
長 長 長

部員

布發 大正 年 月 日

者副官 部

宛

川崎造船所長

特務船間宮進水件

九月三十日給糧戸九号ヲ以テ 總出ノ 願書ノ 件 認許相成ルヲ 示
右通知ス

(終)

摩事

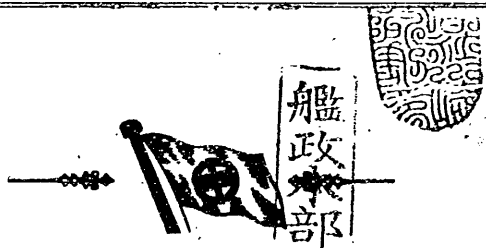
起案
五年九月二十九日

者起案

添付
圖書

淨書
者

0442



給糧第九號

大正十二年九月廿日

神戸駐在代
首席監督官久保

海軍大臣 財部 彪 殿

第四部

第五部

特務艦間宮進水ノ件御願



未
東
崎
目拾四番地
株式會社
崎造船所
松方幸次郎社
監

特務艦間宮進水ハ豫テ御認許相蒙リ候工事進捗豫定概括表ノ通り本年
 六月上旬舉行ノ豫定ニ課之候處本艦用汽罐ハ目下軍艦加賀ニ裝備中ニ
 テ未タ御下附無事爲ニ進水期日決定致兼候ニ付本年五月三日附給糧第
 七號弊書ヲ以テ在ノ次第具申本艦用汽罐御下附期日確定ノ上改訂概括
 表拜提可仕候間其迄御猶豫被成下度御願申上候處本年六月二日附官房
 機密第七八八號ノ二ヲ以テ御認許相蒙リ候得共汽罐ハ未タ御下附無之
 從テ本艦ノ進水期日ヲ決定スルコト出來不申候然ルニ本年三月十二日
 附官房機密第三三六號ノ二ヲ以テ御認許相蒙リ候第七四第七五第七六

株式會社
川崎造船所用
本艦
12.9.28
房受
等

0443



潜水艦工事豫定概括表ニ基キ第七六潜水艦ハ本年十一月一日目下特務艦間宮ニ使用中ノ船臺ニ起工可致豫定ニ有之候ニ付船臺ノ關係上其以前ニ特務艦間宮ヲ進水セシムル必要有之候間本艦ヲ左記ノ通り來ル十月廿六日ニ進水セシメラレ度何卒特別ノ御詮議ヲ以テ前陳ノ事情御高察ノ上御認許相蒙リ度此段奉願上候

追テ本艦用汽艦御下附期日確定ノ上ハ本艦工事豫定概括表作成更メテ拜提可仕候間左様御了承被成下度候

左記

一 特務艦間宮

大正十二年十月廿六日進水

以上

0444

紙 郵 案 起

大正十二年 十二月 四

日起案

起案者 陸軍省

月十四日發付

發付掛 陸軍省

發付後起 案者捺印

提案) 艦政本部長

大臣 虎

次官

副官 藤田

副官 藤田

第四部長

第五部長

第一部長

總務部長

第三課長

第一課長

第二課長

第三課長

第四課長

省 副官

川崎造船所長宛

大正十二年一月十日

特務艦回宮之事豫定概指表変更ノ件

十月廿一日附給糧力一三ノ号願出ノ本件認許相成候

號

12.12.20 第三課
12.12.17 陸軍省
12.12.11 受
12.12.22 受接
12.12.20 受
12.1.1 庫録
12.12.7 受接
12.12.26 陸軍省

局部	受月日	發月日
官房	受月日	發月日
軍務	受月日	發月日
人事	受月日	發月日
艦政	受月日	發月日
關務	受月日	發月日
經理	受月日	發月日
法務	受月日	發月日
技造	受月日	發月日
教育	受月日	發月日
臨建	受月日	發月日
水路	受月日	發月日
軍令	受月日	發月日

0445

艦政本部

第四部

第五部

給糧第一三號 大正十二年十一月廿一日

海軍大臣 財部 彪殿

神戸駐在

首席書記官

特務艦間宮改訂工事進捗概括表拜提ノ件

大正十一年九月六日附官房機密第一二六三號ノ二ヲ以テ御認許ヲ蒙リ

候特務艦間宮改訂工事進捗概括表ハ其後官ノ御都合ニ依リ本艦用混焼艦御

官給第一相候爲メ實施不可能ト相成居候處今回天城混焼艦御下附被

下候第一付テ別紙改訂概括表作製拜提仕候間何卒御認許被下度此段奉

願上候也

追テ増設冷蔵庫用冷却機ハ未タ御下附無之右御下附期日ノ如何ニ依

ツテハ本概括表ニ變更ヲ生スルヤモ不知候間何卒左様御諒承被成下

度此段申添候

會社式

川崎造船所

12.12.3

官房

0447



特務艦間宮工事進捗豫定概括表

名 稱	着 手 年 月 日	竣 工 年 月 日
一、起 工	大正十一年十月廿五日	
二、進 水		大正十二年十月廿六日
三、艦 積 込	大正十二年十一月 中旬	大正十二年十二月 下旬
四、主 機 積 込	大正十二年十一月 中旬	大正十二年十一月 下旬
五、豫 行 運 轉	大正十三年 三月 下旬	大正十三年 三月 下旬
六、公 試 運 轉	大正十三年 四月 上旬	大正十三年 四月 上旬
七、引 渡		大正十三年 五月十五日

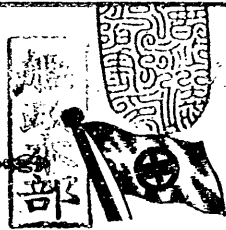
契約引渡期日大正十三年十月三十一日

川崎造船所用箋

右通牒ス

(
3/2
)

0450



給糧第一六號

大正十三年三月二十二日

海軍大臣 村上格一殿

神戸駐在

首席監督官

神戸市東川崎町船所地

株式會社川崎造船所

專務取締役松方次郎

特務艦間宮改訂工事進捗線定概括表拜提ノ件

大正十二年十月十一日附艦本第六五〇三號ヲ以テ特務艦間宮冷蔵庫

増設御下命相蒙リ候處冷却機増備並冷蔵庫増設改造追加工事ノ爲メ

貳個月ヲ要シ之方爲メ曩ニ御認許ヲ蒙リ候概括表ハ實行不可能ト相

成第一五部ニ別紙改訂概括表拜提仕候間何卒御認許被成下度此段御

願申上候

總務部

第二課 (完) 第一課

官房機密第二〇二

丸印 B. 4. 21

株式會社川崎造船所用 官房機密

0451



特務艦間宮工事進捗豫定概括表

一三、三、二二

會社或川崎造船所用箋

名稱	着手年月日	竣工年月日
一、起工	大正十一年十月廿五日	
二、進水		大正十二年十月廿六日
三、罐積込	大正十二年十二月中旬	大正十二年十二月下旬
四、主機積込	大正十二年十月上旬	大正十二年十一月下旬
五、豫行運轉	大正十三年六月上旬	大正十三年六月上旬
六、公試運轉	大正十三年六月上旬	大正十三年六月上旬
七、引渡		大正十三年七月十五日

契約引渡期日 大正十二年十月三十一日

五—一五

0452

起案郵紙

大正十三年七月二十八日起案
起案者 捺印

七月四日發付
發付掛 捺印

發付後起
案者捺印

(提案) 艦政本部長



第一部長

第二部長

第三部長

大臣 閣員

副官

次官 參事官

總務部長

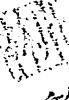


第一課

第二課

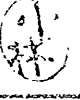
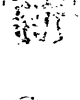
第三課

軍務局長

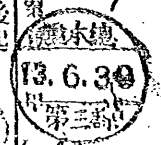
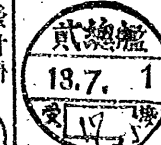
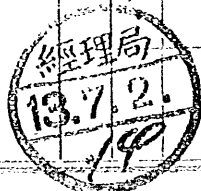


第課長

局員



軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	總務	艦政	人事	軍務	官房	局部



0453



13.7.3

大正十三年七月十二日
是鍾長官宛
特務艦間官公謝件

號番
官
三二二九

特務班間宮羅針儀公儀ハ積載鋼鐵ノ關係ニ
麥飯後是近海ニ於テ施シスヘシ之ニ要スル燃料等
ノ地内耗亦甚キ様哉今社中崎造船所ヨリ麦飯ス儀
ト心得ヘシ

右訓令ス



(根文社印)

0454

本
13.7.5
付録

監
督
官

人名
編綴

普通
機密
結了
續了

番
號
送

艦
本
第
三
九
二
六
號

艦
本
第
四
四
四

添
付

者
淨
書



布
發
大
正
年
月
日

幸
部
長

經
由

川
崎
造
船
所
長
宛

特
務
艦
乃
宮
公
誠
之
界
之
件

首
題
、
件
之
界
之
別
紙
呈
送
、
通
呈
鑑
察
所
身
之
長
官
宛
訓

令
之
長
官
宛
訓
、
令
之
長
官
宛
訓

加
通
傳
之

別
紙
呈
送
件

結

艦政本部長

主

第 第 第 第 第 第 第 第 第 第

部 部 部 部 部 部 部 部 部 部

長 長 長 長 長 長 長 長 長 長

第 第 第 第 第 第 第 第 第 第

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

部 部 部 部 部 部 部 部 部 部

長 長 長 長 長 長 長 長 長 長

第 第 第 第 第 第 第 第 第 第

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

課 課 課 課 課 課 課 課 課 課

長 長 長 長 長 長 長 長 長 長

第 第 第 第 第 第 第 第 第 第

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

部 部 部 部 部 部 部 部 部 部

員 員 員 員 員 員 員 員 員 員

本
艦
3.7.1
受
録

案
起
13
年
6
月
30
日
起
案

0455



第一部
第二課
總務部
第三課
第一課

大正十三年六月二十五

日午後一時三十分兵庫東出局發
日午後三時一五分海軍省着

發信者(在神戸)岸科監督官

受信者艦政本部長

電 番電報譯文

間宮羅針儀公試ニ要スル燃料其他消耗品ハ
引渡ノ際会社ヨリ回航用燃料ト全時ニ見積額
ヲ供給スルフトニ取計ラヘリ。

13. 6. 25

3



本艦
13. 6. 25
受接

0456

海

軍

(小作)

本艦
13.6.21
付發

人名
絹綴

機密
普通
繼續了

番發
號送

布發
大正
年
月
日

艦政本部長
濟

總務部長
第一部長
第二部長
第一部長
第二部長
第一部長
第二部長
第一部長
第二部長

第二課長

部員

立神戶
電報
出末
是考及宛

昌宮羅維針儀以試に積載錫鐵ノ影細考Pに以て受領
後是近海に於て施り、甲子年迄之要之燃料等
之果之予以今社ト交渉之爲り、御出末

本報案ヲ供了ニ候(通帳)

添付
圖書

淨書
者

圖書

本艦
13.6.21
受換

案起
18年6月18日

本艦
13.6.20
第三課

本艦
13.6.20

0457

神戸監計第 25 號

大正十三年六月十六日

樋口造兵造船監督官(樋口)

事務艦政本部員殿

問答公試の回答件

問答器所候公試取返の件 以書方差支此之件候

昔是艦守所卜の關係有之候に付至急艇政本部

長官に是出候先公文五牒ヲ奉也云々候事

即取付至候

如儀致す

樋

海軍

0458